

茨城ブロック協議会

副会長方針

茨城ブロック協議会
会員大会連絡会議担当
副会長 櫻井 拓也

37回を数えるブロック会員大会。その歴史の中で、会員会議所において莫大な協議の時間を重ね、会員相互の研鑽の場・交流の場そして相互理解の場として、また、出向メンバーの成果を発信する場として非常に大きな役割を担ってきました。しかし、近年、ブロック最大の事業にも拘らず、参加人数の減少という問題が浮彫りとなっています。1100名のメンバーはブロック事業をどのような感覚、位置付けで捉えているのでしょうか。

事業における参加者の減少という現状を真摯に受け止め、足が向かないという問題の原因を分析し、どうしたらメンバーに参加してもらえるかを検討、探求し、参加人数にもこだわり、1人でも多くのメンバーに発信することが大きな役目だと考えます。我々は地域のリーダーとして、これからも愛する地域や市民のため、果敢にそして率先して、人と人との出会いから創り出される絆や相手に対する思いやりのある明るい豊かな地域社会を構築していかなければなりません。1年間を通じ、1100名のメンバー同志がLOMや各個人の心の壁を越え、「こころ」と「こころ」の対話をすることで、今後のブロックの絆の強さへと繋がることを明確にし、発信していきます。さらに、全国的な組織であるJCというフィールドで得た様々な知識、経験を地域というフィールドへと伝えと共に、各LOMの活動情報などをメンバー同士で分かち合うことで、LOM単位で抱える諸問題を解決へと導きうるものと信じ、ブロックのIMPACTと有り余るPOWERを活かしながら発信していきます。また、ブロックはLOMのサポートが出来る組織であるべきだと考えます。そして、ブロックの色はブロックだけで決まるものではなく、24のLOMの色が混じり合って自然に出来上がるものであると信じています。これまで積み上げてきた連携をさらに強化し、人材の共有、知識と知恵の共有を進め、相乗効果を追求していきます。

会員大会は、茨城ブロック協議会としての運動を内外に対し発信出来る最大のチャンスです。毎年恒例ではなく、メンバーにとって本当に必要とされる大会を目指し、地域に拓かれた大会にしていくと共に、地域や市民と一体になり更なるより良い豊かな社会を構築するための社会変革の波となる大会にしていきます。そして不易流行の精神を持って発信すれば、公益性を持った新たな魅力あるブロック会員大会が生まれると確信しています。